

講演申込要領（紙面申込み）

1. 講演申込書の用紙は本要領（24, 25 ページ）に掲載してありますので、見開きの左右ページを 1 枚（A3）にコピーしてお使いください。
2. 講演申込書のデータは、土木学会年次学術講演会講演データベースに登録するほか、学術情報センターデータベース“GAKKAI”に登録するためのデータベースを兼ねてありますので、各項目漏れなく記入してください。
3. 講演部門の欄は講演を希望する部門を○で囲んでください。共通セッションでの講演希望の場合は、共通セッション番号の方に○印をつけてください。
発表希望セッション名の欄には、講演内容に該当するセッション名を講演分類セッション一覧表の中から選んで記入してください。また、共通セッションの場合は、共通セッションのテーマ番号（CS1～CS○）を発表希望セッション名の欄の第 1 志望欄に記入してください。なお共通セッションを希望されてもセッションが構成されない場合がありますので、講演内容に該当するセッション名を第 2 志望、第 3 志望の欄に記入してください。
このセッション名はプログラム編成する上で必要なものですから必ず記入してください。なお、該当するセッションがない場合は希望する名称を参考として書いてください。
4. 講演題目は主題のほか、副題がある場合は副題まで記入してください。なお、一連の研究の何編かに分けて発表する場合は、それぞれが 1 編ごとに独立した内容でなければ講演できません。この場合、副題を「その 1」「その 2」等とだけ付けて講演題目とすることはご遠慮ください。また、原稿の言語、講演の言語の種別を○で囲んでください。
5. 和文概要は、研究の目的、要旨（特色）、結論などを 300 字以内で簡明に記述してください。英文概要はデータベースの国際的な流通促進のため、100 語以内で記入してください。
6. キーワードは単に表題中の語を再録するのではなく、その研究が検討されるうえで最も効果的と思われるものを和文・英文ともそれぞれ 6 個以内で記入してください。
7. 講演者・連名者の氏名は姓、名の順に記入してください。フリガナ、英文も同様にしてください。
8. 所属機関および部課名は次の場合を除いて省略しないでください。
「株式会社」「財団法人」「Limited」等は省略する。
所属が長い名称のときは部課名を省略しても結構です。略称の方がよく知られている場合は、略称で結構です。
なお、所属が英字形だけの場合は英文欄のみ記入してください。
9. 連名者は 4 名まで可能ですが、プログラムおよび講演概要集目次には、紙面の都合上、連名者欄上段から 2 名までしか掲載されませんのでお含みおきください。会員種別欄はフェロー会員、正会員、学生会員等の別を○で囲んでください。会員番号は必ず記入してください。
なお、協定学協会会員のお申込は記載例を参照の上、学協会名（英文略称）および会員番号を記入してください。
10. 連絡者氏名 所属機関・部課名・連絡先住所・電話は、後日連絡を取る上で必要となりますので必ず記入してください。
11. 講演者の登録参加料（電子申込みができない場合、申込内容および講演原稿の電子化に伴う経費 5,000 円が別途必要になることにご注意ください）は本誌綴じ込みの郵便振替用紙を使用して申込締切日までにお支払ください。また、入金確認のため、講演申込料欄に払込票兼受領証のコピーを添付してください。事務局にて確認次第、講演者の方用に参加証および CD-ROM 版講演概要集をお送りします。
12. 講演申込書・原稿提出日時
(1) 郵送の場合 - 2000 年 4 月 3 日（月）
《当日消印のものまで有効》
(2) 持参の場合 - 2000 年 4 月 4 日（火）
12 時《必着厳守》
13. 提出先・問合せ先
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地
（社）土木学会事務局全国大会委員会係 宛
TEL: 03-3355-3442, FAX: 03-5379-2769
E-mail: inf2@jsce.or.jp

第 55 回年次学術講演会 講演申込書（平成 12 年度）

講演部門	共通セッション CS (1 2 3 4 5 6 7 8 9) (10 11 12 13 14 15 16)	発表希望 セッション名	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望

共通セッションを第 1 志望にする場合は，23 ページの講演申込要領 3. に従いご記入ください。

題 目	和文 (A1)		原稿の言語 (C1)
			1. 日本語 2. 英語
	英文 (B1)		講演の言語 (C2)

和文概要 300 字以内 (D1)	
英文概要 100 語以内 (E1)	

キーワード	和文 (M)			
	英文 (N)			

講演者は個人の土木学会会員に限ります。

フリガナ	年 齢	フリガナ
名前（姓/名）	会員種別	所属機関および部課名
FAMILY/GIVEN NAME	会員番号	AFFILIATION

講演者	(F1)	/	才	(K1)	/
	(E1)	/	F・正・学・非・()	(J1)	/
	(G1)	/		(L1)	/
連名者	(F2)	/	才	(K2)	/
	(E2)	/	F・正・学・非・()	(J2)	/
	(G2)	/		(L2)	/
	(F3)	/	才	(K3)	/
	(E3)	/	F・正・学・非・()	(J3)	/
連名者	(G3)	/		(L3)	/
	(F4)	/	才	(K4)	/
	(E4)	/	F・正・学・非・()	(J4)	/
	(G4)	/		(L4)	/
	(F5)	/	才	(K5)	/
	(E5)	/	F・正・学・非・()	(J5)	/
	(G5)	/		(L5)	/

連絡先	連絡者氏名	/	所属機関・部課名	
	連絡先種別 (○印をつけてください。)	1. 自宅 2. 勤務先	連絡先住所	〒 - TEL: FAX: E-mail:

登録参加料	登録参加料 払 込 日	月 日 (払い込み 済み・予定)	送金額: 円 (他講演者と合算のときは内訳(氏名・部門)を通信欄へ)
	払 込 方 法	郵便振替 ・ 持参(現金) ・ その他(詳細を通信欄へ)	
	通信欄: 払込済み郵便振替受領証コピーを必ずこの欄にのり付けしてご提出ください。		

事務局記入欄	受 付 No.	申 込 料	原 稿 受 付	部 門	No.
		/	/		
	事務局記入	事務局連絡用番号(X1)	注記(X2)		
	センター記入	講 演 番 号 等(Q1)	レコード番号(Y4)		

太枠内以外の方はプログラム及び講演概要集目次には掲載されません

第 55 回年次学術講演会 講演申込書 (平成 12 年度)

講演部門	共通セッション CS (1 2 3 4 5 6 7 8 9) (10 11 12 13 14 15 16)	発表希望 セッション 名	第 1 志望	第 2 志望	第 3 志望
			支持力	基礎工	地盤の応力と変形

共通セッションを第 1 志望にする場合は, 23 ページの講演申込要領 3. に従いご記入ください。

題 目	和文 (A1)	支持力深さ係数に関する実験と考察	原稿の言語 (C1) ① 日本語 2. 英語
	英文 (B1)	Experimental studies on the depth factor in the theory of	講演の言語 (C2) ① 日本語 2. 英語
		bearing capacity	

和文概要 300 字以内 (D1)	基礎の根入れ, 形状などさまざまな条件に対応して地盤の極限支持力を厳密に求めることは困難である。
	実用的には通常の支持力係数 (N_T , N_q , N_c) を修正した一般支持力係数を導入するやり方が推奨される。
	本研究では塑性論的考察より, 一般支持力係数のうち深さ係数を解析的に導く事を試みた。同時に, 間隙
	比 e を $0.65 < e < 0.75$ に調整した模型砂地盤に対し, 基礎巾 $B=2$ cm の帯基礎, $2R=3$ cm の円形基礎および
	$B=3$ cm の方形基礎を根入れ D を $0 \sim 14$ cm として支持力実験を行った。
英文概要 100 語以内 (T1)	This paper describes both the analytical and experimental investigation for determining
	the depth factor appeared in the original bearing capacity formula. The results of analysis
	indicate the depth-factor in terms of cohesion c is nearly equal to the factor in terms of
	surcharge q , which is given by $1+0.2D/B$, where D and B denote the depth and width of
	the foundation. On the other hand, the experimental results give the relation $dq=1+0.15D/B$.
	The difference between the analysis and experiments is due to local failure occurred during
	the test for greater depth.

キーワード	和文 (M)	支持力	深さ係数	形状係数
		模型実験	数値解析	支持力公式
	英文 (N)	bearing capacity	depth factor	shape factor
		model test	numerical analysis	bearing capacity formula

講演者は個人の土木学会会員に限ります。

フリガナ	年 齢	フリガナ
名前（姓/名）	会員種別	所属機関および部課名
FAMILY/GIVEN NAME	会員番号	AFFILIATION

講演者	(F1) ヨツヤ / タロウ	24 才	(K1) ドボクダイガク/コウガクブ
	(E1) 四谷 / 太郎	F・正・学・非・()	(J1) 土木大学 / 工学部
	(G1) Yotsuya / Torou	1 9 9 8 0 1 2 3 4	(L1) Azuchi-Univ /
連絡者	(F2) イチガヤ / ジロウ	22 才	(K2) シノノケカダ イカク
	(E2) 市谷 / 次郎	F・正・学・非・()	(J2) 信濃町工科大学/
	(G2) Ichigaya / Jirou	1 9 9 8 0 1 2 3 5	(L2) S I T /
	(F3) イイダバシ / サブロウ	50 才	(K3) スイトウカシヤツ / キシヤツ
	(E3) 飯田橋 / 三郎	F・正・学・非・(ASCE)	(J3) 水道橋建設 / 技術部
	(G3) Iidabashi / Saburou	1 9 9 8 0 1 2 3 6	(L3) Sudobashi Consutrauction/
連絡者	(F4) /	才	(K4) /
	(E4) /	F・正・学・非・()	(J4) /
	(G4) /		(L4) /
	(F5) /	才	(K5) /
	(E5) /	F・正・学・非・()	(J5) /
	(G5) /		(L5) /

連絡先	連絡者氏名	四 谷 / 太 郎	所属機関・部課名	土木大学 工学部
	連絡先種別 (○印をつけてください。)	1. 自宅 2. 勤務先	〒160-0004 東京都新宿区四ッ谷一丁目無番地 TEL: 03-3355-3441 FAX: 03-3355-3441 E-mail: yotsuya@doboku-u.ac.jp	

登録参加料	登録参加料 払 込 日	3 月 10 日 (払い込み <u>済み</u> ・予定)	送金額: 15,000 円 (他講演者と合算のときは内訳(氏名・部門)を通信欄へ)
	払込方法	郵便振替 ・ 持参(現金) ・ その他(詳細を通信欄へ)	
	通信欄: 払込済み郵便振替受領証コピーを必ずこの欄にのり付けしてご提出ください。 払込票兼受領証		

事務局記入欄	受 付 No.	申 込 料	原 稿 受 付	部 門	No.
		/	/		
	事務局記入	事務局連絡用番号(X1)	注記(X2)		
	センター記入	講演番号等(Q1)	会議番号(Y1)	レコード番号(Y4)	

大枠内以外の方はプログラム及び講演概要集目次には掲載されません

講演原稿執筆要領

本文は、PDF ファイルによる電子投稿原稿作成の執筆要領です。印刷物による投稿については、本要領の書式に準じて作成して下さい。

1. 目的

講演概要集の目的は、聴講者の便宜のため、かつ来場できない会員に講演内容を伝えるために作成します。したがって、聴講者が研究の目的、考え方、手法および結論を理解できるように配慮して下さい。

2. データ書式

原稿は、Adobe Acrobat4.0 (または同等品) を用いて変換された、PDF ファイルで提出して頂きます。ファイルサイズは500KB以内とし、印刷した場合のページ数が2ページとなるよう原稿を作成して下さい。これを超えた原稿は受け付けられません。また、投稿するファイルは PDF 形式とし、圧縮ツールは使用しないで下さい。

なお、Adobe Acrobat Reader4.0 ([アドビシステムズのホームページ](#)よりダウンロード出来ます) を用いて、作成した PDF ファイルの原稿が執筆者の意図した通りに印刷されることを確認して下さい。

PDF 化にあたっての解像度の設定は制約を設けません。上記のファイルサイズ以内に納まる限り、執筆者の自由とします。ただ、印刷版概要集の原稿に使用すること考慮すると、テキストおよび白黒ビットマップ画像の解像度は 1200dpi 程度、カラーおよびグレースケールのビットマップ画像 (写真等) の解像度は 300dpi 程度が目安になります。(Adobe Acrobat Distiller4.0 におけるジョブオプションの「Print Optimized」に相当)

なお、CD-ROM 編集の障害となりますので、PDF ファイルにパスワードの設定は行わないで下さい。

3. 使用アプリケーション

原稿作成に使用するプラットフォーム / アプリケーションソフトは問いませんが、最終的に投稿するファイルは PDF 形式 (Version1.3 互換) とし、Adobe Acrobat Reader4.0 で表示 / 印刷出来るものとします。

PDF 化にはいくつかの方法がありますが、上記を満足する限り、執筆者の判断で適宜選択して頂いて結構です。

4. 用紙設定

A4 縦 (210×297mm) とし、上下余白各 18mm、左右余白各 15mm を確保して下さい。

5. 書式

横書き、段組なし、48 文字 / 行、42 行 / ページとします。(多少の誤差は可)

本文の文字の大きさは 10 または 10.5 ポイントとし、英数字は Time (Times New Roman) / Helvetica / Symbol、日本語は MS 明朝 / MS ゴシック (Windows の場合) または 細明朝 / 中ゴシック (Macintosh の場合) を使用して下さい。

なお、日本語フォントにおけるギリシャ文字 (σ δ ε 等) の使用は可能ですが、機種 / フォントに依存する特殊文字 (○付数字等) および半角カナは使用しないで下さい。

上記は、異種プラットフォームにおけるファイルの互換性を確保するために必要です。

6. 表現方法

文字色は黒とします。図・表・写真等については色の制約はありませんが、白黒モニタ / プリンタに出力した際に問題が生じないように配慮して下さい。

なお、原稿の中に関連するホームページへのリンクを作成しても構いません。

7. 書き出し

原稿の 1 ページ目には、題目・勤務先・会員種別・氏名・本文の順に書いて下さい。

題名は第 1 行の 9 文字目から書き出し、1 行あけて、勤務先・会員種別・講演者名 (連名の場合は登壇者、連名者の順) を右側に寄せて書き、1 行あけて本文を書き出して下さい。

8. キーワード・連絡先

1 ページ目最下段に罫線を入れ、キーワード (5 語まで) および連絡先を記述して下さい。

9. 図・表・写真

図・表・写真等は原稿に張付けた状態で PDF 化することとし、別ファイルにしないで下さい。

10. 原稿の取扱い

電子申込みをする場合、原稿ファイルは同時に送信することになりますので郵送の必要はありません (電子申込み要領を御覧下さい)。

ただし、何らかのトラブルで印刷原稿を郵送していただく必要が生じる可能性がありますので、原稿ファイルは削除しないで保存しておいて下さい。

印刷原稿の場合は、裏面の上段中央に部門・ページ数・登壇者名および題目の始めの 5~6 文字を (例: I-1/2, 全国太郎, ○○における...) を鉛筆で明記して下さい。なお、原稿は汚したり、しわにしたりしないように注意して下さい。

なお、登載された原稿は返却いたしません。

11. 原稿受付期間・提出先

PDF ファイル (電子受付) の場合

受付期間: 2000 年 3 月 1 日 (水) ~ 2000 年 4 月 4 日 (火) 17 時
提出先: 年次学術講演会電子申込みページ

<http://www.jsce.or.jp>

印刷原稿 (郵送) の場合

受付期間: 2000 年 3 月 1 日 (水) ~ 2000 年 4 月 3 日 (月)
当日消印有効

提出先: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地
(社) 土木学会事務局全国大会委員会係宛

印刷原稿 (持参) の場合

受付期間: 2000 年 3 月 1 日 (水) ~ 2000 年 4 月 4 日 (火) 15 時
提出先: 東京都新宿区四谷 1 丁目無番地

(社) 土木学会事務局全国大会委員会係 (総務課)

原稿は期限内に届くようにして下さい。

電子受付の場合、締切直前はサーバが大変混雑することが予想されるため、出来るだけ早めの申込みをお願いします。郵送の場合、封筒表に一般セッション申込の方は部門 (第○部門) を、共通セッション申込の方は「共通」と朱書きして下さい。

12. 採否

採否はご一任下さい。

13. 問合せ先

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地

(社)土木学会事務局全国大会委員会係宛

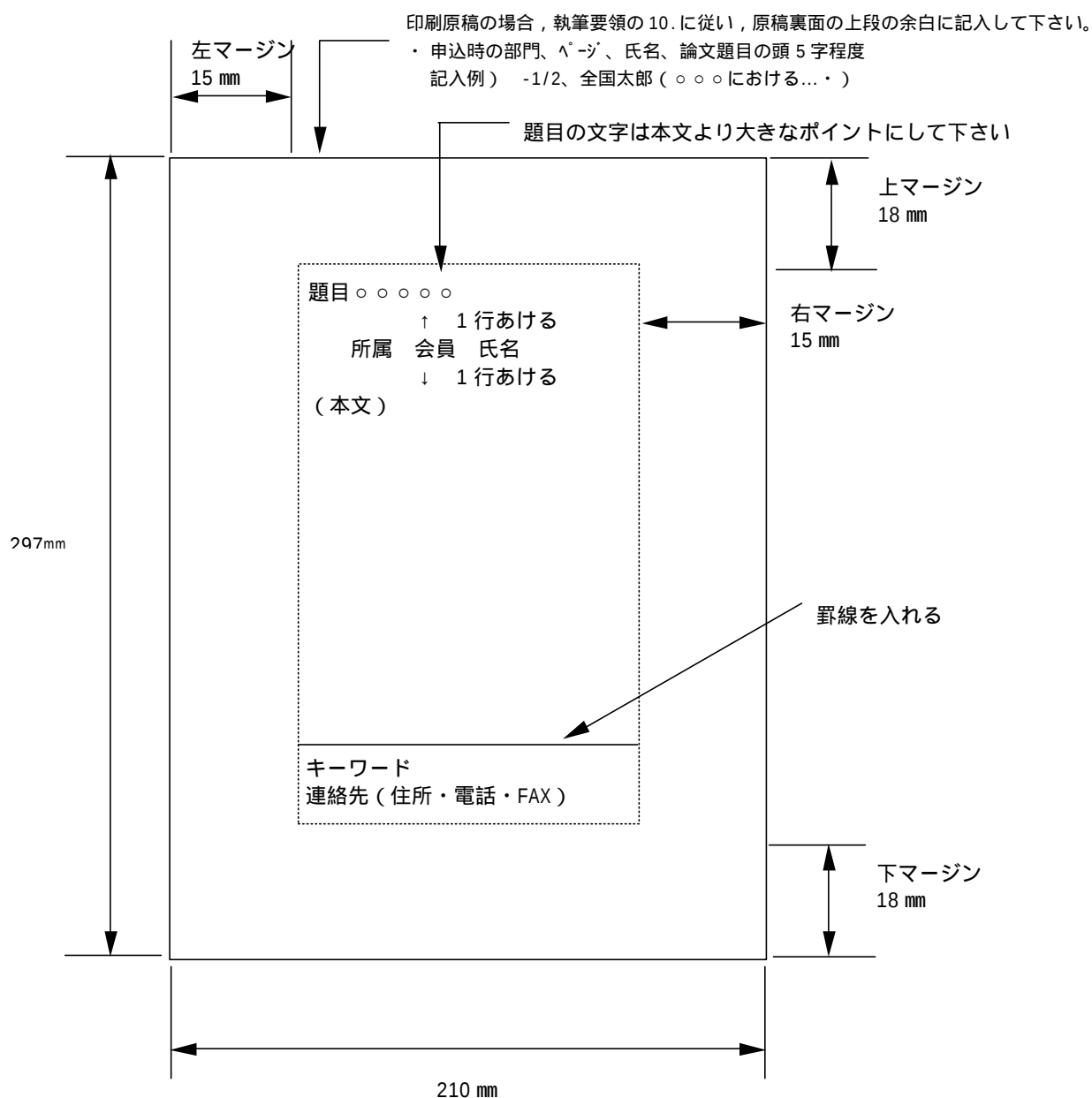
電子申込：TEL 03-3355-3433 FAX 03-5379-0125

E-mail：inf2@jsce.or.jp

14. 参考ホームページ

- ・アドビシステムズ：<http://www.adobe.co.jp/>
- ・プリンタの解像度に依存せずサイズが小さいPostScript
ファイル及びPDF ファイルをTeX から作る方法：
[http://tsk-www.ss.titech.ac.jp/~ryutaroh/good-ps-from-tex.ja](http://tsk-www.ss.titech.ac.jp/~ryutaroh/good-ps-from-tex.m-tex.ja)

原稿の書式（1 ページ目）



注) 点線の囲み枠は印字いただく範囲を示したものですので原稿には不要です。

聴講者の登録参加申込要領

1. 登録参加申込期間2000年6月1日(土)~7月31日(月)までに登録参加申込書をFAX(12:00までに必着) , 郵送(当日消印有効) または持参(12:00までに必着) してください。FAXの場合, 送信票(表紙) はつけないで発信してください。郵送の場合, 封筒に, 登録参加申込書と朱書きしてください。

申込先:

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目無番地
(社) 土木学会事務局 全国大会係
TEL:03-3355-3442, FAX:03-5379-2769

2. 登録参加料は綴じ込みの登録参加申込専用郵便振替用紙または郵便局の払込取扱票を使用して申込締切日までに下記口座にお支払ください。また, 入金確認のため, **登録参加料欄に払込票兼受領書のコピーを添付**してください。事務局にて確認次第, 参加証およびCD-ROM 版講演概要集をお送りします。

年次学術講演会 登録参加料専用郵便振替口座:

口座番号: 00180 - 8 - 16210

口座名: 社団法人土木学会

3. 参加証およびCD-ROM 版講演概要集は郵送いたしますの

で, 送付先は郵便番号から正確にご記入ください。送付先が勤務地の場合は, 勤務先名称を必ずご記入ください。なお, 複数人でお申込の場合は, 参加証送付先記入欄に記入してある方にまとめてお送りいたします。

4. 登録参加料は, 土木学会の会員, 非会員の別, および申込期間内の受付, 期間後の受付の別によって料金が異なりますのでご注意ください。また, 当日受付は現金払いです。後払いは一切承っておりません。

		聴講者の登録参加申込時期	
		申込期間内 (2000/6/1 ~ 7/31)	申込期間後 (2000/8/1 ~ 当日)
会	一般	10,000 円	12,000 円
	学生	7,000 円	8,400 円
非	一般	20,000 円	20,000 円
	学生	10,000 円	10,000 円

5. 滞りなく速やかに登録処理を行うため, 記入漏れがないよう今一度ご確認の上お送りください。

第 55 回年次学術講演会 登録参加申込書（平成 12 年度）

《開催日時：2000 年 9 月 21 日（木）～23 日（土）》

登録参加申込期間：2000 年 6 月 1 日（土）～7 月 31 日（月）

▼該当する欄に○印をつけてください．

フリガナ 聴講（参加）申込者氏名	正会員 10,000 円 (12,000 円)	学生会員 7,000 円 (8,400 円)	非会員 20,000 円	学生非会員 10,000 円
合計人数	名	払込合計金額（振込手数料はご負担ください．）		円
登 録 参 加 料	登録参加料払込日	月 日 （払い込み 済み・予定）		
	払 込 方 法	郵便振替 ・ 持参（現金） ・ その他（詳細を通信欄へ）		
	通信欄：払込済み郵便振替受領証コピーを必ずこの欄にのり付けしてご提出ください．			

参加登録申込期間後（2000/8/1～当日）は登録参加料が異なりますのでご注意ください．

参 加 証 送 付 先	住所及び TEL	〒 -		
		TEL :	FAX:	E-mail:
	勤務先名称			
氏 名				

事 務 局 記 入 欄	受付日	受付番号	登録参加料	
	/		/	

